

# 平成24年度全国学力・学習状況調査

## 算数B：主として活用の分析

呉市立昭和西小学校

### <成果>

- 無回答率が低い。  
無回答の児童数（全13問中）  
6問・・・0人      4問・・・1名      3問・・・2名
- 短答式の問題についての正答率が高い。（平均正答率 70.8%）

### <課題>

- 平均正答率が全国平均・広島県平均に至っていない。  
（平均正答率 56.9%）
- 求め方や理由を記述する問題において、必要な算数的用語や数を用いて必要な事柄を過不足なく記述することに課題がある。（平均正答率 37.8%）
- 「評価の観点」から見ると、数学的思考方（平均正答率 51.2%）と知識・理解（平均正答率 55.6%）が特に低い。
- 領域別に見ると、全領域において、全国の平均正答率（58.5%）を下回っている。

### <これからの全校での取組>

- ①西風タイムにおける習熟度別学習  
各学年において、週1回（水曜日5校時）習熟度別学習を取り入れ、特に習熟しにくい児童に対して、個に応じた指導を行い、基礎的・基本的知識・技能を身につけさせる。
- ②西小学習パターンを取り入れた授業づくり  
全学年において、「西小学習パターン」を算数の授業に取り入れ、言語活動の充実を図りながら児童の思考力・表現力を育てる。その際、特に高学年においては求め方や理由を問う授業を大切にし、まとめたことを確実にノートに記述させる。